

豊庄だより



第 716 号 2022 年 7 月 26 日

福岡市早良区南庄 2-26-13
社会福祉法人林生会豊庄保育園
園長 西尾 達

新型コロナウイルスの流行「第7波」の急拡大を受け、今、豊庄保育園は大揺れです。7月25日（月）は、保育士が感染者、濃厚接触者になり、この日に出勤できたのは5人のみ！しかも担任は1人だけ！こんなことは私の16年になる保育園での生活で初めての事です。ピンチです。クラスだけで活動しているだけなら、ここまでは広がらないかと思いますが、朝や夕方、合同で過ごすことも多く、しかも、今回のオミクロン株の感染力強さのためでしょう、次から次へと感染が広がっています。

保育園で感染者が判明すると、発症日と濃厚接触者のリストを添付して、福岡市に報告することが義務付けられています。また、自粛期間中に新たな感染者が出ると、期間の延長をしなければなりません。24日（日）に、複数の報告書を作り、内容が正しいかをこども未来局と確認し、モバイルや電話で該当するみなさんに連絡をしました。

この過程で、とても納得できることではないことに出会いました。それは、保育士の出勤の条件についてです。以上児の担任（濃厚接触者で自粛中）から、「抗原キットで陽性反応が出ました。自覚症状もあります。」という連絡が入りました。すぐに PCR 検査をするように伝えたのですが、検査するところがとても混んでいるのか、連絡ができないということでした。（その後も電話をかけ続け、25日の13時ようやく予約が取れましたという連絡が、25日の午前中に入りました。）陽性反応がでたということで、濃厚接触者のリストを作り、早急にみなさんに連絡をしなければなりません。報告書を作成し、自粛期間の確認もしようと思ひ、こども未来局に連絡しました。すると、意外な答えが返ってきました。「PCR 検査で陽性が出ないと登園の自粛要請はできません」でした。

唖然としました。「そんなことしたら、さらに感染が拡大しますよ！」と訴えました。すると、「7月22日の国の会議で自粛期間の短縮が決定し、保育士さんは、抗原検査で、2日目と3日目に陰性になれば出勤可能です。今日と明日の朝に検査をしてもらってください。」と「アドバイス」をしていただきました。抗原キットで陽性反応が出て、自粛の要請はできないのに（キットで陰性が出て、医療用でないことと検査のやり方が十分でなくて、正確でないこともあります）、その逆はありえません！抗原キットは厚生労働省を通じ、福岡市から保育園に送られてきたのです。保育士の出勤は抗原キットで2回陰性になればOK。矛盾を感じます。「出勤」のハードルは低く、「自粛要請」のハードルは高い。怒りがつつつとわいてきました。しかし、福岡市の職員である限り、国の決定に従うことを求められると思いますが、現場の声を政策に反映させるべく努力してほしいというのが、今回のやり取りで強く感じたことです。



6月23日

「PCR 検査で陽性が出ないと登園の自粛要請はできません」でした。唖然としました。「そんなことしたら、さらに感染が拡大しますよ！」と訴えました。すると、「7月22日の国の会議で自粛期間の短縮が決定し、保育士さんは、抗原検査で、2日目と3日目に陰性になれば出勤可能です。今日と明日の朝に検査をしてもらってください。」と「アドバイス」をしていただきました。抗原キットで陽性反応が出て、自粛の要請はできないのに（キットで陰性が出て、医療用でないことと検査のやり方が十分でなくて、正確でないこともあります）、その逆はありえません！抗原キットは厚生労働省を通じ、福岡市から保育園に送られてきたのです。保育士の出勤は抗原キットで2回陰性になればOK。矛盾を感じます。「出勤」のハードルは低く、「自粛要請」のハードルは高い。怒りがつつつとわいてきました。しかし、福岡市の職員である限り、国の決定に従うことを求められると思いますが、現場の声を政策に反映させるべく努力してほしいというのが、今回のやり取りで強く感じたことです。

国は、感染拡大に警戒感を示す一方、新たな行動制限は行わない方針を示しています。県も行動制限をせず、県独自の「コロナ特別警報」を発令する方針を固めたと報道されていますが、そのしわ寄せが今、保育園で起こっています。